

平成28年度
(第52期)
事業報告書

自 平成28年 1月 1日
至 平成28年12月31日

公益財団法人 国立京都国際会館

目 次

| | |
|-----------------------|-------------|
| はじめに | ・・・P. 2 |
| I. 法人の概況 | ・・・P. 3 |
| II. 事業の概況 | ・・・P. 4～17 |
| III. 理事会及び評議員会等に関する事項 | ・・・P. 18～21 |
| IV. 庶務事項に関する事項 | ・・・P. 22～23 |
| V. 収支状況 | ・・・P. 24 |

新たな一步を踏み出し、前へ

主催者をはじめ、国・地元自治体や関係者の皆様の理解と支援により、昨年、当館は創立50周年を迎えることができました。

日本で最初の国立の国際会議場施設として、国際相互理解の促進と、学術、科学技術等への振興に貢献することを目的に、今日まで数多くの会議等を開催して参りました。その一つひとつの積み重ねが当館の誇りと自信に繋がっております。また、昨年は創立50周年の記念すべき年として、業績においても大変好調な一年であり、大型の国際会議や学術会議等を例年以上に開催して頂きました。これにより、日本・京都から世界に向けて更なる情報発信ができました。

2017年は、創立51年目に入り、新施設の建設工事が平成30年の完成に向けて本格化し、名実ともに新たな時代に突入して参ります。新施設が完成・稼働すれば、これにより当館にとって永年の希望が叶い、今まで見られなかった環境が実現できることとなります。

近年、訪日外国人観光客は年々増加しており、同時に京都への観光客も増え続けております。しかしながら、MICEの現状では、海外の都市間や全国の主要都市間との誘致競争、増加する全国主要施設との催事の開催競争が年を追うごとに激しくなっております。MICEを取り巻く環境変化のスピードが増す中において、当館もそのスピードに対応し、変化し続けなければなりません。そのひとつとして、海外で開催されるMICE業界加盟団体の総会や商談会に積極的に参加し、情報を収集し、ネットワークを広げるとともに、潜在的に需要のある海外主催者に対して、直接働きかける誘致活動を行っています。

本年は、当館にとって新たな歴史の幕開けの年であり、時代の流れと共に次のステージへの第一歩を踏み出す年であります。今後、益々競争が激化するMICE業界において、国内だけでなくアジア、世界へ向けて大きな存在感を示していきたいと考えております。次の50年に向けて更なる発展と飛躍を誓い、常に発信力のある国際会議場を目指して今後も邁進してまいります。

I 法人の概況

1. 設立年月日

1966年（昭和41年）5月21日

2. 定款に定める目的

国有の会議場施設の管理の委託等に関する特別措置法に基づき管理の委託を受けた国有の会議場施設を適切に管理し、効率的に運用することにより、国際相互理解を促進し、学術、科学技術、文化等の振興及び地球環境の保全等に寄与することを目的とします。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 政府又は政府間機関による国際会議、学術・科学技術会議等の誘致及び運営事業
- (2) 国際交流と日本文化の普及事業
- (3) 国立京都国際会館の施設管理事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 主たる事務所・従たる事務所の状況

主たる事務所：京都府京都市左京区岩倉大鷲町422番地

従たる事務所：東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル419

II 事業の概況

「平成28年度業務推進計画」に基づき、以下の事業を実施しました。

1. 会議等の運営事業及び誘致状況

(1) 開催会議・催事一覧

①主な国際会議・催事

| | 会議・催事名 | 開催期間 | 参加人数 |
|----|--|---------------|--------|
| 1 | 公益社団法人日本青年会議所2016年度京都会議 | 1/21 ~ 1/24 | 14,000 |
| 2 | 第13回国際人類遺伝学会 | 4/3 ~ 4/7 | 3,000 |
| 3 | 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 | 5/19 ~ 5/21 | 15,000 |
| 4 | Ultrasonic Week 2016 | 5/26 ~ 5/29 | 6,000 |
| 5 | 京都スマートシティエキスポ2016 | 6/1 ~ 6/1 | 2,000 |
| 6 | 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 | 6/9 ~ 6/11 | 8,000 |
| 7 | The 21 st Annual Meeting of RNA Society (RNA2016) | 6/28 ~ 7/2 | 1,100 |
| 8 | 第9回環太平洋先端材料とプロセッシング国際会議 | 8/1 ~ 8/5 | 1,300 |
| 9 | Kyoto Ram Katha | 8/20 ~ 8/28 | 750 |
| 10 | 第20回国際分析心理学会 | 8/28 ~ 9/2 | 1,000 |
| 11 | Ruby Kaigi 2016 | 9/8 ~ 9/10 | 950 |
| 12 | 科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)第13回年次総会 | 10/2 ~ 10/4 | 1,200 |
| 13 | 第26回国際原子力機関核融合エネルギー会議 | 10/17 ~ 10/22 | 1,200 |

| | 会議・催事名 | 開催期間 | 参加人数 |
|----|----------------------------|---------------|-------|
| 14 | 第40回国際外科学会世界総会 | 10/23 ~ 10/26 | 2,000 |
| 15 | 第32回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ | 11/10 ~ 11/12 | 3,400 |

②主な国内会議・催事

| | 会議・催事名 | 開催期間 | 参加人数 |
|----|--|---------------|-------|
| 1 | 健康フォーラム「健腸生活のすすめ」 | 1/30 ~ 1/30 | 1,800 |
| 2 | 第54回関西財界セミナー | 2/4 ~ 2/5 | 630 |
| 3 | 第7回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式 | 2/13 ~ 2/13 | 1,000 |
| 4 | 第31回日本環境感染学会総会・学術集会 | 2/19 ~ 2/20 | 8,000 |
| 5 | 第9回宝酒造杯囲碁クラス別チャンピオン戦 京都大会 | 4/17 ~ 4/17 | 1,300 |
| 6 | 国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン 第30回リジョン大会及び2015年度分科会 | 4/25 ~ 4/26 | 2,500 |
| 7 | 平成28年度京都府PTA指導者中央研修会 | 7/7 ~ 7/7 | 1,500 |
| 8 | 第121回日本循環器学会近畿地方会 | 7/16 ~ 7/16 | 1,300 |
| 9 | 第4回日本糖尿病療養指導学術集会 | 7/23 ~ 7/24 | 1,500 |
| 10 | 平成28年度全日本珠算選手権大会 | 8/8 ~ 8/8 | 550 |
| 11 | 第10回小児科専門医試験 | 9/3 ~ 9/4 | 1,000 |
| 12 | 平成28年度京都府戦没者追悼式 | 10/13 ~ 10/13 | 2,000 |
| 13 | 第10回日本薬局学会学術総会 | 10/29 ~ 10/30 | 4,000 |
| 14 | 心の健康・文化フォーラム | 12/4 ~ 12/4 | 1,700 |
| 15 | KYOTO ジョブフェア | 12/17 ~ 12/17 | 1,000 |

(2) 主要な会議開催状況について

①開催状況全般について

2016年は、全館規模の大型国際学術会議が年間を通して数多く開かれたことにより、16億円を超える過去最高の使用料収入をあげることとなりました。

年間の開催総件数が平年並みであるにも関わらず、使用料収入の面において例年を凌駕する実績が残ったことは、開催された一会議の収益性の高さが大きな要因となっております。全館貸切り規模で且つ、3日間（準備日含む）から5日間程度連続使用された参加3,000人規模の会議は14件（国際12件、国内2件）開かれておりますが、そのうち約85%に当たる12件が医学系でありました。

医学系会議の市場規模の圧倒的な大きさをあらためて考慮すると、安定的経営基盤の構築のためには、医学系学術会議の誘致促進は欠かせないという実情が再認識されます。

②重要会議の開催状況について

(ア) 第13回国際人類遺伝学会

開催日：平成28年4月3日～7日

参加人数：約3,000人

国際人類遺伝学会連合が5年に一度開催する会議であり、「ゲノム医学が拓く明日の医療」をメインテーマに、60年の歴史において初のアジア開催となりました。アジアにおける人類遺伝学、遺伝医学の啓発、発展にも大きく貢献する会議となりました。



(イ) 第59回日本糖尿病学会年次学術集会

開催日：平成28年5月19日～21日

参加人数：約15,000人

我が国の患者数が950万人とも言われる糖尿病は、治療薬や医療機器の臨床導入により、コントロールが従来よりは容易になったものの、増加には歯止めがかかっていません。今次学術集会では、「知の融合が拓くあたらしい糖尿病学」をメインテーマに、糖尿病専門医のみならず、関連領域における研究

者・学会の「知」を結集する内容となりました。また、新しくなったロームシアター、みやこめっせと宝ヶ池エリアをつないでの開催となりました。

(ウ) 第40回国際外科学会世界総会

開催日：平成28年10月23日～26日

参加人数：約2,000人

112カ国から約2,000人の外科医が京都に参集し、日本では20年ぶりに開かれた会議であり、開会式に天皇皇后両陛下のご臨席を賜りました。「心」をテーマにした同会議では、「2016年国際外科学会京都 “心”宣言」により、遺伝子医療、移植・再生医療、ロボット手術などの新しい医療技術の実施導入に際しては医療の原点を忘れることなく、患者さんの心を考慮に入れた Patient first の外科医療を推進していくことが発信されました。



(3) 重要会議の誘致状況

①誘致活動全般について

これまでに整備を進めた企画提案資料や飲食パーティープランなどの誘致ツールを有効に活用し、一件毎の会議誘致のみならず、中期的視野に立った幅広い顧客層へのプロモーションに力を入れました。また、海外から直接的に問合せのある主催者に対しては、当館独自の企画提案資料（英語バージョン）が有効に機能し始めていると考えます。

海外プロモーションの一環としては、5月にドイツのフランクフルトで開かれた IMEX (The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings & Events / 国際 MICE 専門見本市) に、京都文化交流コンベンションビューローとともに京都ブースを出展し、欧州を中心とするミーティングプランナー、PCO (Professional Congress Organizer)、催事主催者等影響力のあるバイヤーに対して、商談レベルで京都の魅力を伝えるなど当館の PR を行う機会を得ることができました。

②重要会議の誘致状況について

(ア) 第5回世界パーキンソン病学会

開催日：2019年6月4日～7日

参加者数：約3,200名

主催：World Parkinson Coalition Inc. (WPC)

備考：2016年6月に決定。アジアで初の開催。

(イ) 国際高血圧学会 (ISH2022)

開催日：2022年10月12日～16日

参加者数：約4,000名

主催：特別非営利活動法人日本高血圧学会

備考：2016年9月に決定。1988年以来の京都開催。

(ウ) 第13回世界核医学会

開催日：2022年9月7日～11日

参加者数：約3,000名

主催：日本核医学会

備考：2016年10月に決定。

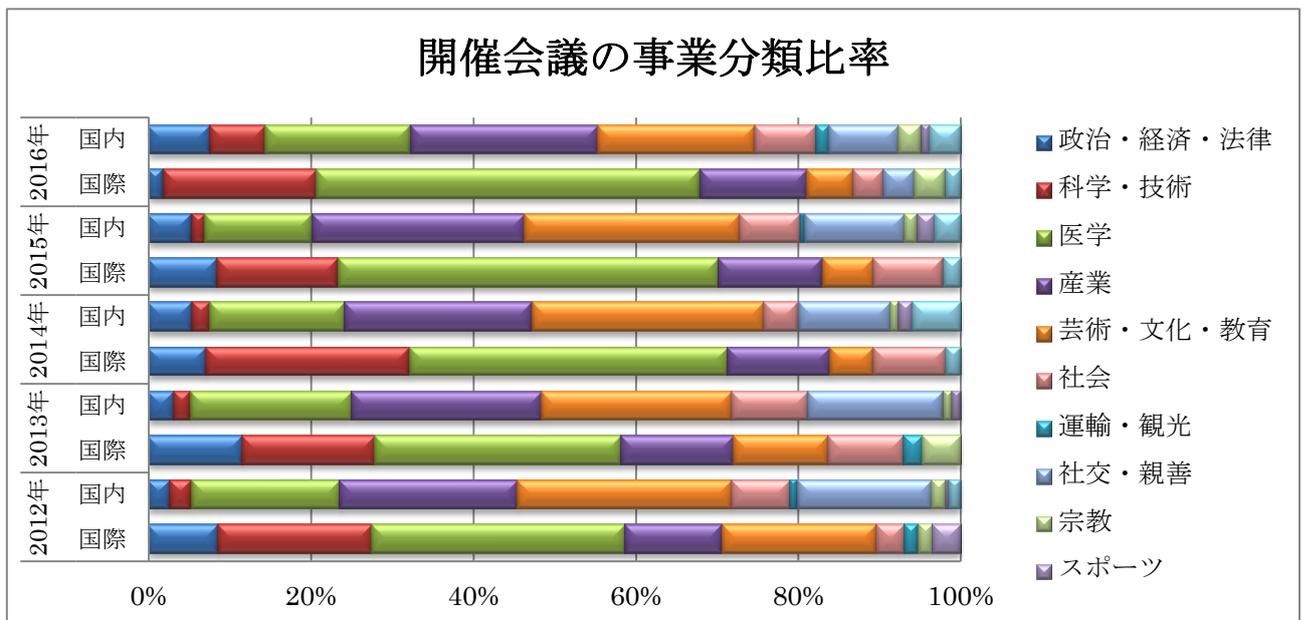
(4) 会議開催状況に関するデータ一覧

①開催件数と参加者数

| 国際・国内 | 件数 ・参加人数 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|-------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 国際会議 | 開催件数 | 58 | 43 | 56 | 47 | 53 |
| | 参加人数 | 89,180 | 72,617 | 86,792 | 73,180 | 111,208 |
| 国内会議 | 開催件数 | 224 | 192 | 186 | 188 | 186 |
| | 参加人数 | 170,145 | 199,714 | 159,155 | 167,605 | 148,245 |
| 合計 | 開催件数 | 282 | 235 | 242 | 235 | 239 |
| | 参加人数 | 259,325 | 272,331 | 245,947 | 240,785 | 259,453 |

②開催会議等の事業分類

| 事業分類 | 2012年 | | 2013年 | | 2014年 | | 2015年 | | 2016年 | |
|----------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| | 国際 | 国内 |
| 政治・経済・法律 | 5 | 6 | 4 | 10 | 4 | 10 | 1 | 14 | 1 | 14 |
| 科学・技術 | 11 | 6 | 7 | 4 | 14 | 4 | 7 | 3 | 10 | 13 |
| 医学 | 18 | 41 | 13 | 38 | 22 | 31 | 22 | 25 | 25 | 33 |
| 産業 | 7 | 49 | 6 | 45 | 7 | 43 | 6 | 49 | 7 | 43 |
| 芸術・文化・教育 | 11 | 59 | 5 | 45 | 3 | 53 | 3 | 50 | 3 | 36 |
| 社会 | 2 | 16 | 4 | 18 | 5 | 8 | 4 | 14 | 2 | 14 |
| 運輸・観光 | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 3 |
| 社交・親善 | - | 37 | - | 32 | - | 21 | - | 23 | 2 | 16 |
| 宗教 | 1 | 4 | 2 | 2 | - | 2 | - | 3 | 2 | 5 |
| スポーツ | 2 | 1 | - | 2 | - | 3 | - | 4 | - | 2 |
| その他 | - | 3 | - | - | 1 | 11 | 1 | 6 | 1 | 7 |
| 開催件数合計 | 58 | 224 | 43 | 192 | 56 | 186 | 47 | 188 | 53 | 186 |



③主な会場の稼働日数

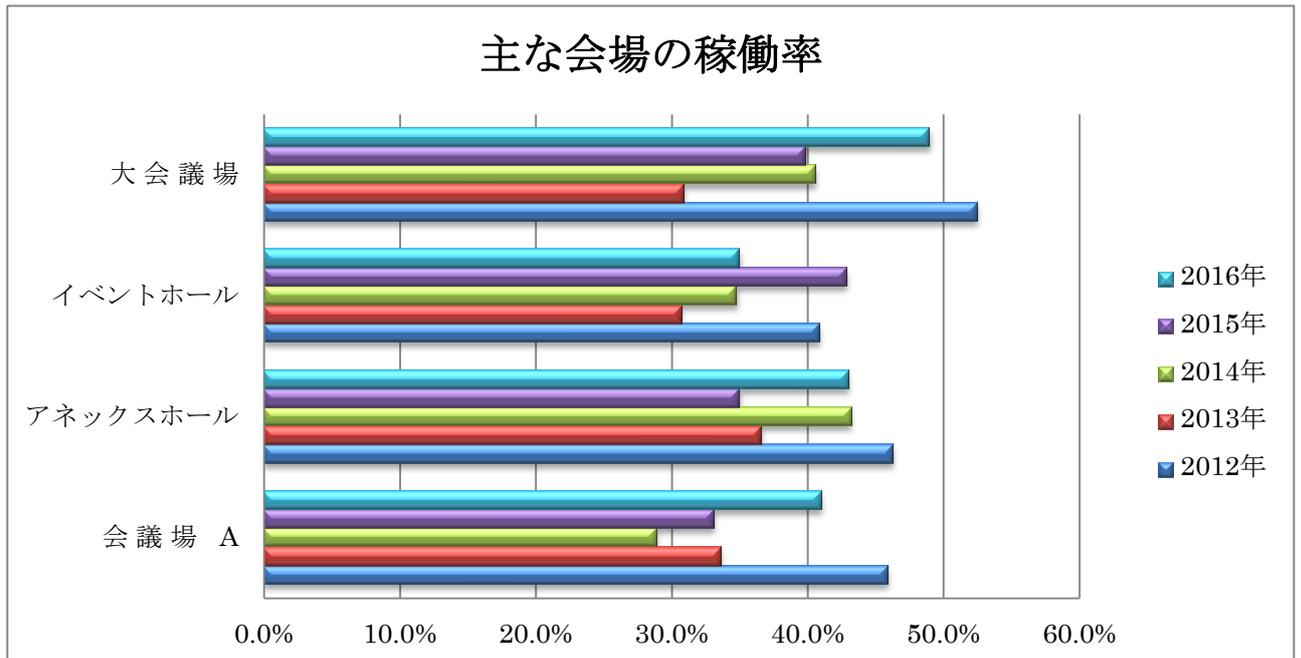
| 会場名 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大会議場 | 167 | 110 | 83 | 142 | 166 |
| 会議場 A | 145 | 72 | 103 | 118 | 140 |
| 会議場 B-1 | 124 | 86 | 101 | 104 | 104 |
| 会議場 B-2 | 125 | 85 | 96 | 95 | 95 |
| 会議場 C-1 | 137 | 95 | 91 | 91 | 136 |
| 会議場 C-2 | 131 | 100 | 92 | 94 | 132 |
| 会議場 D | 144 | 111 | 99 | 116 | 141 |
| イベントホール | 126 | 109 | 124 | 153 | 119 |
| アネックスホール | 148 | 130 | 154 | 125 | 146 |
| 合計 | 1,247 | 898 | 943 | 1,038 | 1,179 |

④主な会場の稼働率

| 会場名 | 2012年 | | 2013年 | | 2014年 | | 2015年 | | 2016年 | |
|----------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 稼働日数 | 率(%) |
| 大会議場 | 167 | 52.5 | 110 | 30.9 | 83 | 40.6 | 142 | 39.8 | 166 | 49.0 |
| イベントホール | 126 | 40.9 | 109 | 30.7 | 124 | 34.8 | 153 | 42.9 | 119 | 35.0 |
| アネックスホール | 148 | 46.3 | 130 | 36.6 | 154 | 43.2 | 125 | 35.0 | 146 | 43.0 |
| 会議場 A | 145 | 45.9 | 72 | 33.6 | 103 | 28.9 | 118 | 33.1 | 140 | 41.0 |

稼働率＝稼働日数÷営業日（365日－電気点検日2日×12か月－休館日4日）

※2013年の会議場A、2014年の大会議場はそれぞれ分母より耐震工事日数141日、152日を減じています。



2. 会館施設の整備及び拡充に向けた取り組みについて

(1) 既存施設の整備状況について

ニューホールの建築工事が本格的に始まり、平成 28 年度は、既存施設の維持管理に係る更新及び設備機器類の更新を実施しました。

【財務省普通財産維持費予算】

- ・防災監視システム等補修工事（全館）

【当財団資産取得事業予算等】

- ・メインホールプロジェクターの更新
- ・ルーム B-1・B-2 カーペットの更新
- ・経理課会計ソフトの更新
- ・業務用無線機の更新

(2) ニューホールの整備状況について

ニューホールの整備工事につきましては、平成 28 年 3 月に、国土交通省近畿地方整備局において、建築、機械設備、電気設備の各工事業者と工事請負契約を締結されました。その後、近畿地方整備局、施工者、京都市、当財団等による合同会議を定期的に開催し、様々な調整作業を進めるとともに、地元住民、近隣のホテルや学校等の主要施設への事前説明を経て、9 月には、各種配管の埋設等の先行工事や現場事務所の設置等を行い、11 月から本体工事が本格的に開始されました。このようにニューホールの整備は順調に進んでおり、平成 30 年 6 月末には、2,000 m² (2,500 人規模) の多目的ホールが竣工する予定です。

今回の工事現場に設置される仮囲いには、環境に配慮した壁面緑化や和風柄模様を施したパネルが採用されております。また、イベントホール周辺には竹垣模様を背景にニューホールの完成イメージパースが施され、さらに、国際会館周辺の名所の写真も四季に応じて貼り替えられていく予定です。

- ・京都らしい設えの取組状況

当財団の資産取得事業の一環として、平成 27 年度から京都市と連携して取り組んでおりますニューホールにおける「京都らしい設え」の内装の設計業務につきましては、将来の拡充も見据え、伝統建築や伝統工芸分野の複数の有識者の方からご意見をお聴きしながら、国の施設設計業務を担う同じ設計業者において具体化に向けた検討を重ねてまいりました。その中で、建物全体として調和のとれたものとなるよう、基本方針を国と相互に共有しながら、3 つの柱から成るコンセプトを定め、来場者を迎え入れる「玄関」や「ロビー空間」、賓客をもてなす「特別室」、内外のつながりによりもてなす「庭」の 4 つの空間を対象に、「結・むすぶ」をキーワードとして、京都の伝統産業や伝統文化、匠の技等を活かした素材やデザインを選定し、京都らしい内装の主な内容を取りまとめました。なお、現在、京都市において、当財団の「京都らしい内装」に相応しい調度・備品の制作に向け、有識者懇談会を設置し検討を進められているところです。

- ・将来に向けた更なる施設拡充

これまでから要望を続けてきた 4,000 m² (5,000 人規模) のホールへの更なる施設拡充につきましても、現在進められている 2,000 m² (2,500 人規模) の工事の進捗状況や完成時期等も視野に入れながら、引き続き、オール京都の体制で、国に対し、あらゆる機会を捉えて働き掛け、早期実現に向けた一層の理解と協力を求めてまいります。

3. 顧客満足度の向上について

(1) 顧客ニーズの把握

顧客ニーズの再捕捉に取り組むために、各種アンケートの実施と評価結果の分析を行いました。分析を通じて明らかになった課題は、「ケータリングのコストパフォーマンス及び提案内容」、「展示会場の施設規模」、「複雑な搬入搬出経路」、「時代に合わせた設備の更新」、「ごみの減量・リサイクル対策」等です。課題を明確にしながらか、重点改善事項に取り組み、更なる機能とサービスの向上に繋げていきたいと考えます。

【取り組み内容】

- ・顧客へのヒヤリング活動
- ・アンケート項目の全面見直し
- ・加盟組織 AIPC（国際会議場協会）が実施する利用者が選ぶ” World’ s Best Convention Center” への参加

（2） Website のリニューアル

Website のデザインや画面構成等について、平成 29 年 4 月の全面リニューアルに向けて取り組みました。コンテンツへのアクセス導線を利用者目線で整備し、コンテンツの充実とサイト内での回遊性を高め、利便性向上に努めました。また、キーワード検索上位への対応、及び Website の営業ツール化を視野に入れ、機能強化も図りました。

（3） 「フード&ビバレッジプラン 2016」の更新

魅力ある提案を行うため、平成 27 年度に会館と食堂会社が協同で作成したプランの拡充を行うと共に、営業ツールも更新し、顧客への訴求力向上を図りました。このような取り組みにより、平成 28 年度の飲食取扱額は対前年比約 139%となり、効果を上げました。また、飲食演出プランのモニタリングも実施しました。

（4） 「宴会オーダーシート」のリニューアル

当館営業、食堂会社（営業、サービス、調理部門）における情報共有プラットフォームとして利用している「宴会オーダーシート」をよりきめ細やかなサービスを提供できるための情報が共有できるように、全面リニューアルを実施し、複雑化・高度化する顧客ニーズの正確な把握に全部門で取り組みました。

4. 人材育成の推進と新人事評価制度の導入について

（1） 人材育成研修の実施

本年より導入した新人事評価制度を効果的に活用し、組織のマネジメント力と競争力を強化するため、上期に管理職向け・一般職向けの「目標管理フォロー及び評価方法」の研修を行い、下期には管理職向けに「マネジメント力向上研修」を行いました。各職員は自身の考えと研修での学びの違いを認識し、各自の業務と役割について明確化できました。

(2) 情報交換会の開催

国際問題や経済問題、学術・芸術等の多岐に亘るテーマについて、有識者の方々を講師に講演会・意見交換会を実施しました。また、職員による出張報告なども実施し、出張を通じて学んだことを職員全体で共有することができました。下期では他業種の講師による MICE 業界の講演を行い、同業者とは違った角度の目線を知ることと、これまでの一般教養だけでなく、専門知識に対する見識の向上を図りました。

5. コンプライアンスの向上及び危機管理体制の強化について

(1) コンプライアンスの強化

平成 28 年度よりマイナンバー制度が導入されたことに伴い、「情報セキュリティ」研修を実施し、業務で取り扱う個人情報等の重要性やその管理方法、情報漏えいによる社会的影響等について学び、ルールの厳守を再確認しました。また、打ち上げ花火に関する消防法や火薬類取締法等の法令順守と地域社会への配慮を徹底すべく、新フローの運用を開始しました。

(2) 危機管理意識及び体制の強化

ソフトターゲットを狙ったテロ等を想定した訓練の実施や消防大会への参加、班別の自衛消防訓練の継続実施、暴漢対策訓練など実践に即した訓練を行うことでスキルの向上に努めました。また、巡回警備や入館者チェックの頻度を増やし、ID 着用等を徹底することで、不審者の侵入や事件を未然に防ぎ、危機管理意識とその体制の強化を図りました。

6. 創立 50 周年記念関連事業の展開について

昨年、当館にとって記念すべき節目の 50 周年を迎えました。当館設立の趣旨や使命を再確認し、未来に向かってさらに飛躍するために、次の 4 つの課題を念頭に 50 周年事業として取組みました。

- ・日本のコンベンションの先駆けとして、これまでの歩みを検証し、次の 50 年に繋げていくこと

「国立京都国際会館 50 周年記念シンポジウム ～日本初の英知を世界へ
そして未来へ～」(平成 28 年 12 月 13 日開催)

- ・開館 50 周年の機運をニューホール完成まで繋げること
- ・日本の MICE を牽引する当館の更なるプレゼンスの向上のため、対外的に情報発信していくためのツールとして活用すること
「京都新聞紙上にて京都国際会館 50 周年記念特集掲載」（平成 28 年 5 月 21 日）
- ・感謝の思いを関係機関等へ伝えていくこと
「桜・さくらスペシャルデイズ 2016 ～春の庭園特別開放ライトアップ～」(平成 28 年 3 月 29 日・30 日開催)

7. 国際交流及び地域貢献の推進について

半世紀にわたり国際会議等の開催を通じて、世界各国との総合理解を深め、国際協力を推進する一方、国際社会、国地域へ貢献することを念頭に日々、業務を遂行している中で、国際交流・地域貢献も私どもの大きな役割となっています。昨年は、当館が設立 50 周年を迎え、創立 50 周年事業と冠を付けた 3 つの事業を中心に展開しました。

(1) 「桜・さくらスペシャルデイズ 2016」～ 春の庭園特別開放ライトアップ ～

(再掲)

開催日：2016 年 3 月 29 日・30 日（ライトアップは両日 18 時から 21 時まで）

参加者数：約 6,000 名

今回は創立 50 周年を記念して大会議場裏の桜樹木植栽範囲を中心に庭園を開放し、当館初の光輝く桜の世界を一般の方に特別開放しました。和傘や風鈴灯の設置、アンサンブルコンサート、館内見学ツアー、友禅金彩加工をはじめ手描友禅、和蠟燭絵師や人形髪付師など職人実演ブースを設置するなど、多彩な企画を実施し、2 日間で延べ 6,000 名を超える皆様にご来館いただき、館内、庭園共に大変賑やかな催しとなりました。



(2) 第 61 回春の宝松庵茶会・第 62 回秋の宝松庵茶会

開催日：春 2016 年 3 月 27 日（日）、秋 2016 年 11 月 23 日（祝・水）

参加者数：春・秋共に約 600 名

当館恒例行事となった催しで、今年で 61・62 回と開催数を重ねてきました。伝統産業の実演販売として、春は江戸切子講座と展示、秋は汲み上げ湯葉の実演と試食を行い、同会参加者が興味を引く企画内容を実施しました。その他茶道関連の販売ブースも併設し、盛況の内に終了しました。

(3) 乾杯の夕べ 2016～チェコからドブリーデン！歴史ある都へ～

開催日：2016 年 7 月 30 日・31 日

参加者数：約 3,400 名

今回は 2 日間に渡り、京都・プラハ姉妹都市提携 20 周年記念にちなみ、チェコ共和国をテーマ国として開催しました。延べ参加者は 3,000 名を超え、この「乾杯の夕べ」を毎年楽しみにしていただいている多くのお客様と共に、大盛況なイベントとすることができました。会館 50 周年記念ロゴマークの仕掛け花火やレーザーショーの演出、当館の歴史や施設紹介コーナーの設置など、50 周年を印象付けるものとなりました。また、「乾杯の夕べ」の花火が広く知られるようになり、参加者以外の観賞者が会館周辺へ車で押しかけるため、安全確保のため京都府警と協力し、専用道路の片側一方通行による交通規制を実施しました。

更に、今年は国際会館開館 50 周年・地下鉄開業 35 周年記念祭として「地下鉄に乗って国際会館に行くっ！」も京都市交通局と共催で実施しました。



(4) 国立京都国際会館 50 周年記念シンポジウム (再掲)

開催日：2016 年 12 月 13 日

参加者数：約 300 名

国立京都国際会館が日本で最初の国際会議場として設立されてから半世紀。設立 50 周年を記念して、「国立京都国際会館 50 周年記念シンポジウム～日本発の英知を世界へ そして未来へ～」を開催しました。稲盛理事長の挨拶ではじまり、基調講演では、「国際会館の未来へ」というテーマで裏千家 15 代・前家元の千玄室氏をお迎えし、ご自身と国際会館のつながりやおもてなしの心の大切さについてご講演いただきました。続いて開催されたパネルディスカッションでは、パネリストに井村裕夫氏・堀木エリ子氏・堀場厚氏・松山良一氏、コーディネーターは木下館長が努め、『国際会館の半世紀と「これから」』というテーマで、多方面で活躍されているパネリストの視点から、当館に対するそれぞれのご意見をうかがい、今後の国際会館の役割や意義、課題等について議論が交わされました。



(5) 国立京都国際会館見学及び茶道体験留学生招待

開催日：2016 年 12 月 18 日

参加者数：30 名

国立京都国際会館と京都市国際交流協会の主催により、京都で学ぶ留学生を館内の見学及び宝松庵での茶会に招待し、茶室

(宝松庵) の紹介及び茶道の体験をしてもらいました。茶道を通じ、日本の文化に触れることにより、伝統文化への理解を深め、国際交流の推進を図りました。また、未来を担う若者に当館の役割を知ってもらう良い機会となりました。



Ⅲ 理事会及び評議員会等に関する事項

1. 理事会及び役員に関する事項

(1) 理事会

| 会議の区分 | 会議の日時・場所 | 会 議 の 目 的 事 項 |
|----------------|--|---|
| 第 103 回 理事会 | 平成 28 年 3 月 8 日 午前 11 時～12 時 会館 510 会議室 | 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告（案）及び決算（案） の件 第 2 号議案 第 25 回評議員会招集の件 報告事項 (1)「第 5 回役員等候補選出委員会（2 月 10 日開催）」 の結果概要について (2)中長期計画アクションプランの作成について (3)業務推進計画について |
| 第 104 回 理事会 | 平成 28 年 12 月 12 日 午前 11 時～12 時 会館 Room C-2 | 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算 （案）の件 報告事項 (1)ニューホール関連の取り組みの進捗状況について (2)主要大型国際会議の開催決定状況について |

(2) 役員の変動

| 氏名 | 異動年月日 |
|-------|---------------------|
| 稲盛 和夫 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |
| 村田 純一 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |
| 木下 博夫 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |
| 門川 大作 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |
| 立石 義雄 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |
| 山極 壽一 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |
| 山田 啓二 | 平成 28 年 3 月 22 日 重任 |

(3) 役員氏名

※（理事長・副理事長・常任理事・理事・監事の順で）五十音順

| 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
|------|--------|-----|--------|
| 理事長 | 稲盛 和夫 | 理事 | 堀木 エリ子 |
| 副理事長 | 村田 純一 | 理事 | 堀場 厚 |
| 常任理事 | 木下 博夫 | 理事 | 松下 正幸 |
| 理事 | 井上 正幸 | 理事 | 山岡 義生 |
| 理事 | 上村 多恵子 | 理事 | 山極 壽一 |
| 理事 | 門川 大作 | 理事 | 山田 啓二 |
| 理事 | 立石 義雄 | 監事 | 大宮 正 |
| 理事 | 谷野 作太郎 | 監事 | 西田 憲司 |

理事長 1 名 副理事長 1 名 常任理事 1 名 理事 11 名 監事 2 名 計 16 名（平成 28 年 12 月末日現在）

2. 評議員会及び評議員に関する事項

(1) 評議員会

| 会議の区分 | 会議の日時・場所 | 会議の目的事項 |
|------------|--|--|
| 第 25 回評議員会 | 平成 28 年 3 月 22 日 午前 11 時～12 時 会館 510 会議室 | 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び決算（案） の件 第 2 号議案 理事の選任の件 報告事項 (1) 中長期計画アクションプランの作成について (2) 業務推進計画について |

(2) 評議員の異動

| 氏名 | 異動年月日 |
|-------|---------------------|
| 茅 陽一 | 平成 28 年 3 月 22 日 辞任 |
| 塚本 稔 | 平成 28 年 7 月 1 日 辞任 |
| 岡田 憲和 | 平成 28 年 7 月 1 日 就任 |

(3) 評議員氏名

※五十音順

| 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
|-----|--------------|-----|-------|
| 議長 | 明石 康 | 評議員 | 齊藤 行巨 |
| 評議員 | 阿南・ヴァージニア・史代 | 評議員 | 坂本 吉弘 |
| 評議員 | 池坊 由紀 | 評議員 | 千 宗員 |
| 評議員 | 井村 裕夫 | 評議員 | 千 容子 |
| 評議員 | 内海 善雄 | 評議員 | 手嶋 龍一 |
| 評議員 | 大倉 治彦 | 評議員 | 寺島 実郎 |
| 評議員 | 岡田 憲和 | 評議員 | 中尾 一和 |
| 評議員 | 小倉 和夫 | 評議員 | 服部 重彦 |
| 評議員 | 柏原 康夫 | 評議員 | 松山 良一 |
| 評議員 | 小村 武 | 評議員 | 山下 晃正 |
| 評議員 | 齊藤 修 | 評議員 | 吉村 彰彦 |

評議員 計 22 名

(平成 28 年 12 月末日現在)

3. 役員等候補選出委員会及び委員に関する事項

(1) 役員等候補選出委員会

| 会議の区分 | 会議の日時・場所 | 会議の目的事項 |
|---------------------|--|--------------|
| 第 5 回 役員等候補選出委員会 | 平成 28 年 2 月 10 日 午前 11 時 30 分～12 時 30 分 会館 Room 103 | 議案 理事候補者選出の件 |

(2) 委員の異動

| 氏名 | 異動年月日 |
|-------|--------------------|
| 塚本 稔 | 平成 28 年 7 月 1 日 辞任 |
| 岡田 憲和 | 平成 28 年 7 月 1 日 就任 |

(3) 委員氏名

※五十音順

| 役職名 | 氏名 |
|-----|-------|
| 委員長 | 明石 康 |
| 委員 | 井村 裕夫 |
| 委員 | 岡田 憲和 |
| 委員 | 小村 武 |
| 委員 | 齊藤 修 |
| 委員 | 服部 重彦 |
| 委員 | 山下 晃正 |

委員長 1名 委員 6名 計 7名 (平成 28 年 12 月末日現在)

IV 庶務事項に関する事項

1. 施設の管理再委託契約に関する事項

当公益財団法人と京都市が締結している管理再委託契約の施設の内容は次のとおり。

（注：国と京都市との間で国有財産管理委託契約を締結）

| 区 分 | 種 目 | 名 称 | 数 量 | 価 格 |
|-------|--------|---------------------------|---------------------------|-----------------|
| 土 地 | 宅 地 | | 156,096.77 m ² | 4,897,485,158 円 |
| 立 木 竹 | 樹 木 | | 798 本 | 22,930,077 |
| 建 物 | 事務所建 | 会 議 場 | 14,693.54 m ² | 2,189,119,764 |
| | | | 37,786.48 | |
| | 事務所建 | 展 示 場 | 4,860.69 | 452,369,785 |
| | | | 7,976.58 | |
| | 雑 屋 建 | 車 寄 | 126.11 | 4,809,554 |
| | | | 126.11 | |
| | 雑 屋 建 | ポンプ室 | 189.93 | 11,565,405 |
| | | | 189.93 | |
| | 雑 屋 建 | 渡 廊 下 (連絡歩廊) | 449.76 | 38,360,426 |
| | | | 449.76 | |
| | 雑 屋 建 | 渡 廊 下 (連絡歩道橋) | 188.24 | 43,510,685 |
| | | | 188.24 | |
| | 雑 屋 建 | 渡 廊 下 (既設地下鉄 出入口上屋) | 9.33 | 3,462,921 |
| | | | 9.33 | |
| 車 庫 建 | ごみ容器置場 | 16.43 | 355,118 | |
| | | 16.43 | | |
| 計 | | 20,534.03 | 2,743,553,658 | |
| | | 46,742.86 | | |
| 工 作 物 | | | 一 式 | 1,751,646,246 |
| | 合 計 | | | 9,415,615,139 |

2. 休館日に関する事項

平成28年度中に、次の日を休館とした。

| | | |
|-------------------|-----|------|
| 1月 1日(金)～ 4日(月) | 4日間 | 年始休館 |
| 1月10日(日)～11日(月・祝) | 2日間 | 臨時休館 |
| 8月13日(土)～14日(日) | 2日間 | 臨時休館 |
| 12月28日(水)～31日(土) | 4日間 | 年末休館 |

3. 事務局職員に関する事項

| 区 分 | 男 | 女 | 合 計 |
|-----------|-------|----|-----|
| 館長(常任理事) | 1 | 0 | 1 |
| 事 務 局 長 | 1 | 0 | 1 |
| 副 事 務 局 長 | 1 | 0 | 1 |
| 総 務・企 画 部 | 9(1) | 7 | 16 |
| 施 設 部 | 10(1) | 1 | 11 |
| 営 業 推 進 部 | 10(1) | 7 | 17 |
| 合 計 | 32 | 15 | 47 |

()内は出向者(平成28年12月末日現在)

V 収支状況

平成 28 年度収支状況について

収入については、積極的な誘致活動を展開する等収入増に取り組んだ結果、経常収入は 1,735 百万円（前年度比 236 百万円の増収、予算対比では 20 百万円の減収）となりました。

支出については、会場設営、清掃、館内案内、警備、電気機械保守等の年間委託契約費を平成 27 年度に続き各 5%程度削減する等経費削減に努めた結果、経常費用の合計は 1,564 百万円（前年度比 47 百万円の増加、予算対比では 129 百万円の減少）となりました。

上記の結果、平成 28 年度の経常収支は 171 百万円の収益（前年度比 189 百万円の増益、予算対比では 109 百万円の増益）となりました。